

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(1)職務の理解			
指導目標	○研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージをもっと実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3		多様なサービスの理解 1) 介護保険による居宅サービス 2) 介護保険による施設サービス 3) 介護保険外のサービス 視聴覚教材 (DVD) 使用
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		介護職の仕事と現場 1) 介護サービスを提供する現場の実際 2) 介護サービスの提供に至るまでの流れ 3) 介護過程とチームアプローチ 視聴覚教材 (DVD) 使用 (演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	DVD 使用
------------	--------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導體制を記載すること。

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援		
指導目標	○介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数
			講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	3	3	人権と尊厳を支える介護 1) 人権と尊厳の保持 2) ICF 3) QOL 4) ノーマライゼーション 5) 虐待予防・身体拘束禁止 (演習の実施方法) 班体制によるケース・スタディを行う
② 自立に向けた介護	4	4	自立に向けた介護 1) 自立支援 2) 介護予防 3) 動機と欲求 (演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2	人権とはなにか
(合計時間数)	9	9	

使用する機器・備品等	特になし
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(3)介護の基本			
指導目標	○介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。 ○介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援をとらえることができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	2		介護職の役割、専門性と多職種との連携 1) 介護環境の特徴 2) 介護の専門性 3) 介護にかかわる職種
③ 介護職の職業倫理	1	1		介護の職業倫理 1) 専門職の倫理の意義 2) 介護福祉士の倫理 (演習の実施方法) 班体制によるケース・スタディを行う
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	2		介護における安全の確保とリスクマネジメント 1) 介護現場における安全の確保 2) 事故予防、安全対策 3) 感染対策 事故予防・安全対策 (演習の実施方法) 班体制によるケース・スタディを行う
④ 介護職の安全	1	1		介護職の安全 1) 介護職の心身の健康管理 2) 感染予防
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	特になし
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		
指導目標	○介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを習得する。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数
			講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	3	介護保険制度創設 1) 介護保険制度の背景および目的、動向 2) 介護保険制度の仕組みの基礎的理解 3) 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割
② 医療との連携とリハビリテーション	3	3	医療との連携とリハビリテーション 1) 医行為と介護 2) 訪問看護 3) 施設における看護と介護の連携 4) リハビリテーション
③ 障害者自立支援制度およびその他制度	3	3	障害者自立支援制度およびその他の制度 1) 障害者福祉制度の概念 2) 障害者自立支援制度のしくみの基礎的理解 3) 個人の人権を守る制度の概要
(合計時間数)	9	9	

使用する機器・備品等	特になし
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	○高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを図ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限のとるべき（とるべきでない）行動例を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		介護におけるコミュニケーション 1) コミュニケーションの意義、目的、役割 2) コミュニケーションの技法 3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 4) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 (演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		介護におけるチームのコミュニケーション 1) 記録における情報の共有化 2) 報告・連絡・相談 3) コミュニケーションを促す環境 (演習の実施方法) 班体制によるロールプレイングを行う
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	特になし
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 50
商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(6) 老化の理解		
指導目標	○加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数
① 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴	3	3	
② 高齢者と健康	3	3	
(合計時間数)	6	6	

使用する機器・備品等	特になし
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	○介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	1		認知症を取り巻く環境 1) 認知症のケアの理念 2) 認知症ケアの視点
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	2		医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 1) 認知症の概念 2) 認知症の原因疾患とその病態 3) 原因疾患別ケアのポイント 4) 健康管理 (演習の実施方法) 班体制によるケース・スタディを行う
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	2		認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 2) 認知症の人への対応 3) 心理・行動の特徴 (演習の実施方法) 班体制によるケース・スタディを行う
④ 家族への支援	1	1		家族への支援 1) 家族へのレスパイトケア 2) 家族へのエンパワメント
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	特になし
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 50

商号又は名称：社会福祉法人 四天王寺福祉事業団

科目番号・科目名	(8) 障害の理解			
指導目標	○障害の概念と ICF, 障害者福祉の基本的な考え方について理解し, 介護における基本的な考え方について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障害の基礎的理解	1	1		障害の基礎的理解 1) 障害の概念と ICF 2) 障害者福祉の基本理解
② 障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識	1	1		障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識 1) 身体障害 2) 知的障害 3) 精神障害 4) 発達障害 5) 難病
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	1		家族の心理、かかわり支援の理解 1) 家族の理解と障害の受容支援 2) 介護負担の軽減
(合計時間数)	3	3		

使用する機器・備品等	特になし
------------	------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。